

看護研究バックナンバー(内容紹介)

MAR
APR

Vol.
45
No.
02

特集 | 研究の普及を支える基盤としての論文執筆

- 研究の普及を支える基盤 前田樹海
- 看護系論文の執筆スタイルの現状と展望
看護研究の普及を支えるために研究者と研究指導者、看護系学会ができること 谷津裕子, 中本高夫
- 論文執筆マニュアルを研究にいかすために 主要な3つのマニュアルの比較からみえてくるもの 江藤裕之
- 看護教育と看護実践において、臨牀的な知識を発展させるには
パトリシア・ベナー博士来日講演会(京都)より Patricia Benner / 通訳: 早野 ZITO 真佐子

●特別記事

Margaret Newman によるニューマン・ブラクシス方法論

実践的研究例: がん体験者と家族による「生活習慣立て直し対話の会」支援モデル開発

遠藤恵美子, 高木真理

●提言

Mixed Methods を用いた看護研究の提案 古川亮子

●連載

Words, words, words. 一学際的なダイアログをめざして②

遍と個 universal vs. individual 江藤裕之

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・8 インタビューデータの収集 坂下玲子

JAN
FEB

Vol.
45
No.
01

特集 | 研究者育成のための質保証におけるグローバルスタンダード

- 研究者育成の質保証の現状と課題 牧本清子
- 研究者育成の質保証に向けた日米の大学院教育の相違 大阪大学大学院保健学専攻における取り組み 牧本清子
- 米国における研究者育成の質保証の現状と課題 ワシントン大学を中心に考える 近藤暁子
- 英国の大学におけるリサーチチューデント育成のためのサポートシステム マンチェスター大学を例に 小松容子
- フィンランドにおける看護研究者育成の現状と課題 佐々木明子
- タイにおける看護研究者育成の質保証の現状と課題 山本あい子, 岩國亜紀子
- JCEBP の活動からわが国の研究と研究者育成の質保証を考える
伊藤美樹子, 山川みやえ, 心光世津子, 竹内佐智恵

●新連載

Words, words, words. 一学際的なダイアログをめざして① 学際的 interdisciplinary 江藤裕之

●特別記事

国際看護研究の魅力—タンザニアにおけるフィールドワークと米国大学院での経験③

これから国際看護研究を行なう研究者のために 教員・アドバイザーによる「覚書」

Crystal Patil, Kathleen Norr / 翻訳・執筆: 新福洋子

●原著論文

前腕の皮膚水分喪失量(TEWL)簡易計測パッチによる全身発汗量の推定

四十竹美千代, 堀悦郎, 八塚美樹, 小野寺孝一, 浜出絵理子, 横井秀輔, 小野武年, 西条寿夫

●連載

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・7 アンケート(質問票)の設計 坂下玲子

NOV
DEC

Vol.
44
No.
07

焦点 | Good Nurse 研究にみる 東アジア国際共同研究の意義・方法論・成果

- 東アジア Good Nurse 研究の船出と推進, 成果 小西恵美子
- van Kaam の現象学的手法と Good Nurse 研究 八尋道子, Samantha M.C. Pang
- データをみる視点と Good Nurse 研究 蔡 小瑛
- Good Nurse 研究における質問紙開発と質問紙調査による国際比較 和泉成子
- Values for Ethical Nursing Douglas P. Olsen
- 翻訳 看護倫理のための価値 Douglas P. Olsen / 訳: 八尋道子, 和泉成子
- Good Nurse 研究を振り返る 台湾チームから 周 雪静 / 訳: 蔡 小瑛 日本チームから 田中真木

●特別記事

国際看護研究の魅力—タンザニアにおけるフィールドワークと米国大学院での経験②

持続的な国際共同研究を行なっていくために 新福洋子

●連載

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・6 対象の設定・サンプルサイズ 坂下玲子

